

平成 17 年 7 月分電力需給状況

需要の概要

平成 17 年 7 月の販売電力量は、24 億 2 千 5 百万キロワット時、前年比 97.0% となった。（19か月ぶりのマイナス、昨年 7 月の記録的猛暑による反動減）

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」、事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、昨年 7 月の記録的猛暑の反動により冷房需要が前年に比べ減少したことから、それぞれ前年比 95.6%、95.3% となった。

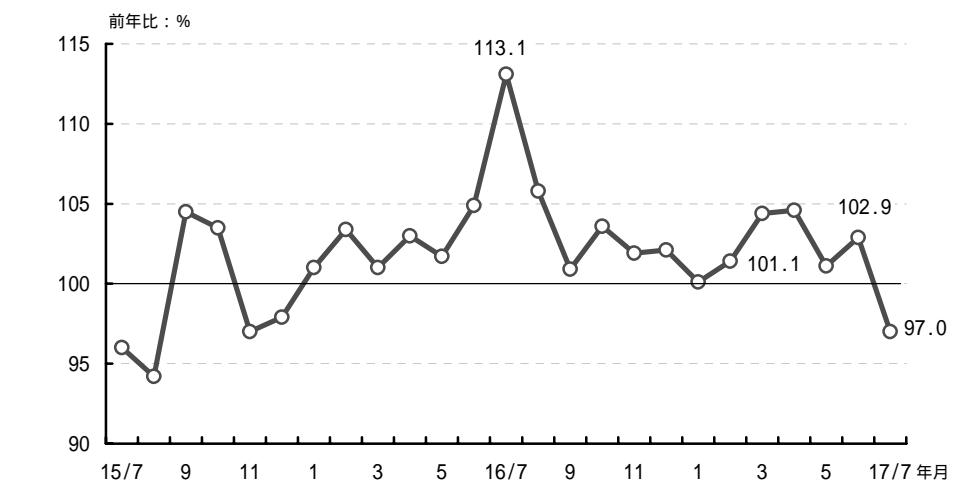
産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、鉄鋼における生産増などから、前年比 102.5% となった。

需要実績		(百万キロワット時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電 灯	727	95.6
	電 力	198	94.1
	計	925	95.2
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	619	95.3
	産業用電力	881	100.1
	うち大口電力	(647)	(102.5)
	計	1,500	98.1
販売電力量 計		2,425	97.0
融 通		688	89.4

注 1. 特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。

2. 17 年 4 月より自由化範囲が拡大されたことに伴い、16 年度以前の需要区分と一部異なる。
前年比は、前年同月の実績を現在の区分に合わせることにより算定した。

(参考 1) 販売電力量の前年比の推移



(参考 2) 4 県都平均気温

	17/6月				17/7月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	22.7	24.4	26.6	24.5	24.8	27.8	28.5	27.0
平年差	1.2	1.9	3.1	2.0	0.5	1.3	1.0	0.5
前年差	0.1	0.9	1.4	0.7	3.1	1.2	0.8	1.7

供給の概要

- 原子力は、前年の定期検査の反動により 前年比 112.4%
- 水力は、昨年の方が渇水傾向だったことから 前年比 104.9%
- 火力は、原子力発電電力量の増加や需要の減少に加え、融通送電の減少などにより 前年比 80.7% となった。

供給実績		(百万キロワット時、%)	
	電力量	前年比	備 考
原子力	(42)	1,521	112.4
水 力	(9)	331	104.9
火 力	(49)	1,783	80.7
発受電計	(100)	3,635	93.7
その他の供給		68	
供 給 計		3,567	93.2

注. () 内は構成比

(参考 3) 各県別の需要状況

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川				
販売電力量計	(99.0)	556	(95.2)	412	(96.4)	828	(97.1)	629

注. () 内は前年比